

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		ナースィングプラス有松校					公表日	2025年 12月 1日				
							利用児童数	14名		回収数	11名	
		チェック項目	5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	1								
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9		1	1		コロナ感染者が出た際、利用できなかったことや、zoomの打ち合わせの案内が直前になってしまっていたことより、人員がたりていないのではないかと感じております。	該当職員のみ対応していたが、前日に全職員にて予定の確認を朝礼時に行う。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10		1							
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10		1							
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	2								
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	1								
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	9	2								
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	2								
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	1								
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	1	1							
	11	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	2	1	1			公園等での戸外遊びを実施。地域の方との関わりの機会を増やす。			
保護者へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	1								
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	1								
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1		1			前期は実施が難しかったので、後期は実施して情報提供を行っています。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9	2								
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	2								
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	2								

の説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	1	2	1			保護者様が参加できるイベントを計画する。 また11月でのナーシング祭りで、保護者様同士が関わられるような機会を設ける。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10		1				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	1	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	2					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	2					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10		1				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9		2				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	1	1				
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10		1				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8	3					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	1	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	1					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ナーシングプラス有松校		公表日	2025年 12月 1日	
	チェック項目	平均点	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7.3		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7.3		利用定員や子どもの支援ニーズの変化に応じた、職員の配置数と専門性を再検討し、手厚い個別支援体制を強化する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6.5		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8.5	毎日の清掃担当表と、清掃箇所のマニュアル化がしっかり出来ている点。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8.5	個別において合理的配慮を実施している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7.3		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7.8		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8.8	定期的なMTGだけでなく、1on1の実施や朝の時間に昨日の振り返りを重点的に行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5.8		第三者評価の結果や提言を、具体的な業務改善計画へ着実に反映させ、PDCAサイクルを明確に回す。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8.8		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	随時支援プログラムを相談する場を設けている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	児発管がアセスメントした後、必ず会議にかけた上でブラッシュアップしている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8.5		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8.5		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8.5		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6.8	活動立案には事業所でミーティングを行い、固定化しないよう努めている	昨年度の活動内容を参考にしながら行っているので新たなアイデアを常に取り入れるようにする
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8.8		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9.3	前日の振り返りを毎日徹底して朝行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6.3		職員間の打合せで共有された気付きや反省点を、個々の支援計画や翌日以降の具体的な支援に迅速かつ確実に反映させる仕組みを強化する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7.8		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	事前に職員間でも当該児童について話した上で、参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8.5	関係機関連携の定期的な実施。また、移行支援シートも作成したりと、外部機関まで関係構築を実施している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7.3		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7.3		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2.8		地域の児童発達支援センターとの連携体制を早急に構築し、職員の専門性向上につながるスーパーバイズや助言を積極的に受ける機会を確保する。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3.5		地域の保育所、幼稚園等との連携を強化し、他の子どもとの交流や共同活動の機会と頻度を計画的に増やし、地域との社会性の育成を促進する。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	送迎時含め、口頭・文章（連絡帳）等で気づき等は必ず共有している。		

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		保護者のニーズを把握した上で、家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の実施頻度や多様性を増やし、家族の対応力の向上に資する機会の提供を強化する。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9.3	契約時に説明を行い、内容に変更が生じた場合は周知している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9.3		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9.8		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9.3		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2.8		開催できるよう努める。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	内容を職員と共有し対応に努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8.5	Instagramアカウントで発信している。	運用されているが保護者様に周知ができていない。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8.8	個別のファイルを作成し鍵付き書庫で管理している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8.5	お子さんについては円滑なコミュニケーションができるようあいうえお表やホワイトボードを用いている。保護者様とは「HUG」を通して施設での様子をお伝えしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6.5	年に1回事業所主催で祭を行っており地域住民との交流の場を設けている。	祭り以外で地域住民を招き入れる機会には乏しいため、土祝の活動の中に組み込んでいくことを検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7.8		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7.8		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	保護者様よりフェイスシートに記入いただいている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8.8	保護者様より聞き取りを行っている 誤食を防ぐため成分表示をダブルチェックし、容器を分けて提供している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	毎月の避難訓練を通して避難方法や経路など共通理解できるよう努めている。	

心	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6.5		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7.8	事業所内で対策を協議の上、内容を全社で共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5.8	昨年度全体で虐待防止の研修会を開催している。	今年度以降も定期的に研修を行なえるよう体制を整えていく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6.5		